

2023年度 津田塾大学 卒業生に関する企業等へのアンケート 報告書

2024/3/8

学生生活課作成

調査概要

1) 目的

卒業生が社会で活躍できるよう大学の教育の質の向上のため、卒業生が在学中に身につける学力や資質・能力及び養成しようとする人材像に照らして、教育の成果や効果を検証する

2) ヒアリング対象企業

- ・卒業生が在籍している
- ・大学との関係性が濃い

3) ヒアリング方法

- ・電話、オンライン、メール

4) ヒアリング実施企業

- ・メーカー 1社
- ・シンクタンク 1社
- ・法律事務所・特許事務所 2社
上記業界の人事担当者

5) ヒアリング内容

- 【1】在籍している卒業生、採用活動で接触のあった在学生の様子から身に備わっていると感じる事
- 【2】大学生活で見つけたほうがよい力・能力

調査回答

【1】身に備わっていること

- ・幅広い知識・教養
- ・外国語運用能力。英語学習にしっかり取り組んだ結果、高い英語力を持っている。
- ・問題を解決する力
- ・異文化や異なる背景を有する人々に対する理解力がある。ダイバーシティへの理解力が高い
- ・周囲に気配りをすることができ、円満な人間関係を築いたり調整したりすることができる
- ・目標を設定し、計画的に実行することができる
- ・物事にコツコツ取り組み、責任感を持ってやり遂げる力がある。
- ・新しいことを学び続ける力がある

【2】 大学生活で見つけたほうがよい力・能力

- ・ 様々な状況にしなやかに対応できる柔軟性。学生のうちは様々な経験を積むことが大切である。
- ・ 「自分が頑張ろう」と決めた学術領域において、前向きに、地道に学び抜くというプロセスを通じて「意味の無さそうな学びが、実はどこかで役にたつということ」や「他者との交流を通じて、自分というものがわかってくるということ」、「自分の可能性・潜在能力は思った以上に深く広いこと。」、「自分の経験・思考の枠に囚われず何でもチャレンジすること」に気づいてほしい。

以上